



難攻不落



令和3年“春はあけぼのキャンペーン”開催!!

☆春はあけぼのキャンペーン第1弾 桜の御城朱印販売

令和3年3月20日(土)より、“春はあけぼのキャンペーン”第1弾として、「城下町佐柿の桜並木」にちなんで、桜の印判をあしらった「桜版」御城朱印の販売を開始しました。

限定200枚、お一人様3枚まで(1枚300円)。



☆春はあけぼのキャンペーン第3弾 ブックレット5冊セット販売開始

同キャンペーンの第3弾は、『佐柿国吉城ブックレット 国吉城の章(全5巻)』の豪華なケースが完成、箱付でもお値段そのまま1,250円です。全5巻は持っているからケースだけ…という貴方には、1枚100円でケースだけお分けします。



☆春はあけぼのキャンペーン第2弾 新デザイン御城朱印帳販売

同キャンペーン第2弾は、新デザインの御城印帳の販売開始です。

今回は、前回早々に売り切れた「黒」を基調としたものをリデザインしました。お一人様3冊まで(1冊1,800円)。



☆新デザインの御城朱印と 栗屋勝久の武将印の販売開始

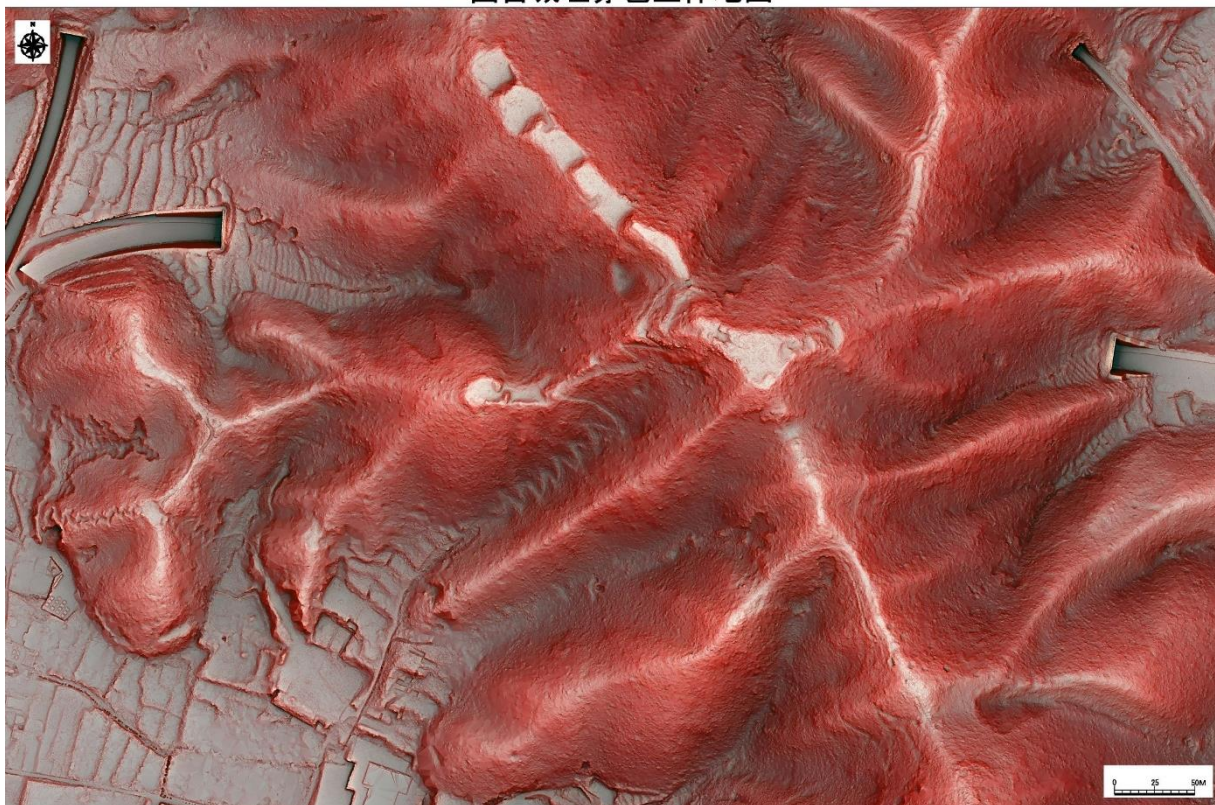
この1月5日より、新デザインの御城朱印が登場しました。「通常版」と「合格祈願版」の2種類が絶賛発売中。

また、“春はあけぼのキャンペーン”に合わせて、若狭美浜観光協会発行の新御城朱印と、県内初発行の武将印の販売を開始しました。お一人様3枚まで(1枚300円)。

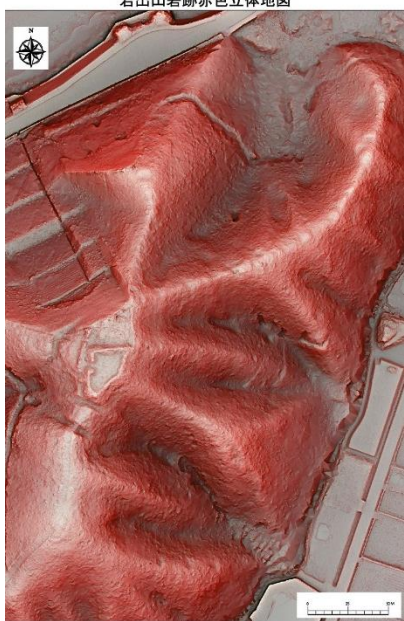


赤色立体地図ができました!!

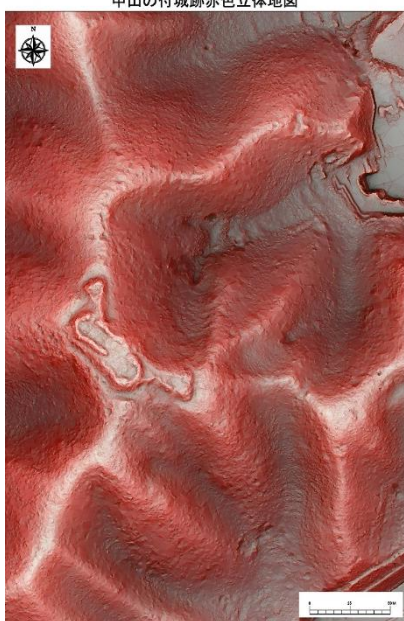
国吉城址赤色立体地図



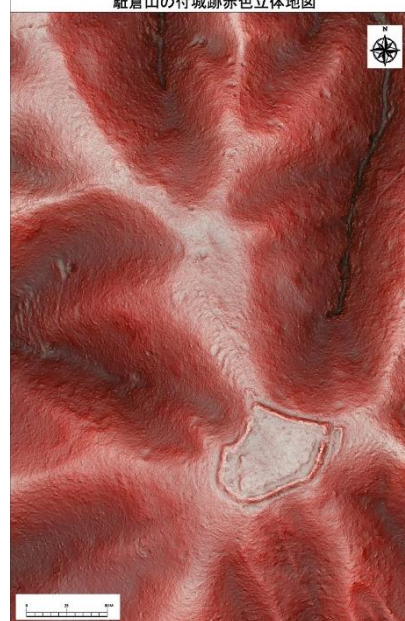
岩出山砦跡赤色立体地図



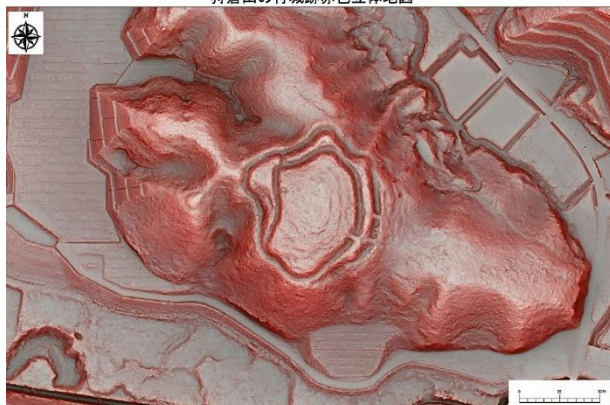
中山の付城跡赤色立体地図

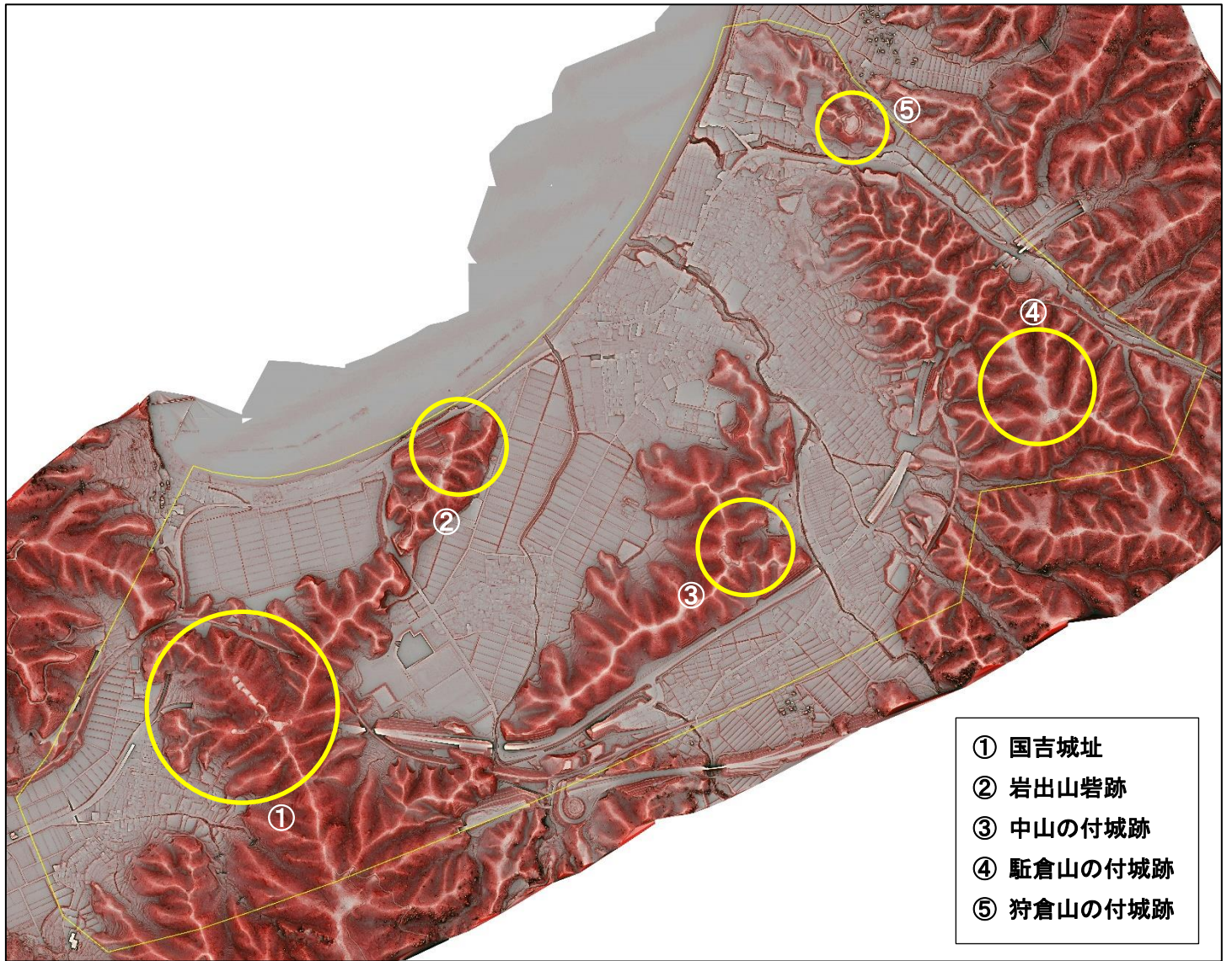


駈倉山の付城跡赤色立体地図



狩倉山の付城跡赤色立体地図





国吉城址及び周辺城砦群赤色立体測量範囲図(測量城館跡位置図)



国吉城址から付城群を望む
 ※国吉城址から見える各付城群は、山林に覆われて何も見えませんが、航空レーザー測量により山林を透過して地形そのものを読み取り、赤色の濃淡で傾斜の緩急を現したものが、赤色立体測量図です。



☆赤色立体地図とは

アジア航測（株）で開発された新しい地形表現技法です（特許第 3670274 号）。

今までの等高線図では、航空レーザー測量により膨大なDEM（数値標高モデル）データを取得しても、微地形の表現には不都合をきたす、という問題がありました。立体感をもっとも強く表れる「赤色」の「明度と彩度」を使って表現することにより、細かな凸凹が見えるようになりました。

☆赤色立体地図があると

- 1、細かな凸凹も表現されるため、既に判明している城跡地形もよりわかりやすくなります。
- 2、細かな凸凹も表現されるため、人工的に加工された可能性のある地形が判明します。そのため、事前に予測を立てて確認踏査箇所を決められることから、調査に要する時間・経費が短縮・削減されます。
- 3、細かな凸凹も表現されるため、下草や落ち葉、腐葉土等で目視確認できない地形も判明し、新たな遺構の発見が期待できます。

☆赤色立体地図から見つかったもの

- ① 国吉城址
 - ・城山北面の急斜面森林地にある遺構のような痕跡
 - ・本丸北東尾根部（至腰越坂）の平坦地群
 - ・本丸南東大堀切から御岳山方向に延びる尾根筋に2本の堀切
- ② 岩出山砦跡
 - ・北方向及び北東方向尾根筋に連続する平坦地面
- ③ 中山の付城跡
 - ・北方向尾根筋に連続する平坦地面
 - ・東方向尾根筋に堀切
- ④ 駈倉山の付城跡
 - ・北西方向尾根筋に連続する平坦地面
 - ・東方向尾根筋に堀切群らしきもの

☆赤色立体地図の活用・公開予定

パネル及び3D模型は、令和3年度春季企画展にて一般公開を予定しています。また、新たにわかったことも含めて現地踏査等で確認・再検討を行う計画です。

測量成果は今後、資料館での常設展示、パンフレットやチラシ、説明板等にも活用します。また、史跡巡りコースの設定時の参考にするなど、様々な利活用を図る予定です。

★大河ドラマ国吉城登場& 織田信長公国吉城入城450年 記念メモリアルコーナー開設

令和2年(2020)は、織田信長が朝倉攻めのために国吉城に入城して450年目で、大河ドラマ『麒麟がくる』にも登場するなど、記念すべき年になりました。この思い出を長く伝えるため、メモリアルコーナーを設けました。次はいつ大河に登場するのやら…。



★「日本100名城」と「続日本100名城」のガイド本が1冊に合体

公益社団法人日本城郭協会が定めた「日本100名城」と「続日本100名城」のガイド本『日本100名城と続日本100名城に行こう』が発売中です。

別々だったガイド&スタンプ帳が1冊に合体。内容や情報も最新版に改訂されています。



★令和2年度冬季トピックス展 『城コレ 2021・立春』も開催中!

◎開催中～4月18日(日)

当館企画展示の恒例企画!今回は、現在全国的なブームとなっている“御城印”のご先祖様?城跡に建つ神社や寺院で発行され、城跡鎮座や御祭神の戦国武将をアピールしている御朱印を紹介しています。



2021年3月19日現在

来館者数は…

68,555名

【館長室へようこそ】

前回の【館長室へようこそ】はお休みをいただきました。だって、いろんな意味で忙しくて…。

ある意味、怒涛の令和2年が終わり、気づけば令和3年に…これも気づけば早3月。月日が知らぬ間に駆け足で僕の横を過ぎていきます…。

昨年の臨時休館明けから夏に始まったGOTOキャンペーン効果と団体客が戻ってきたこと、明智光秀絡みの企画展や歴史講座はやはり期待度も大きくて見学者や受講生も増えて、入館者数はコロナ禍以前と変わらない程度に復活。いや11月に『麒麟がくる』に国吉城が登場して以降は明らかに大幅増加!11月は前年度同月比の倍以上に!

また、今年度の調査関係では、見開きで紹介した国吉城址と出城とされる岩出山砦、籠城戦関連城砦群(朝倉方の付城といわれる中山の付城、駈倉山の付城、狩倉山の付城)の赤色立体測量図化を実施して、様々な新所見が得られました。アジア航測さんによれば、一度に図化した城跡数(5城)としてはこれまで例がないようで(多くの場合は1城、航空レーザー測量エリア内に複数の城跡がある場合でも、契約では主要な1城分だけ)、今まで図化されなかった人間の目ではわかりづらい地形の機微も詳細に現れて、その精度の高さに驚くと同時に、全国各地で頻繁に行われる理由もわかるなあ…と思いつつ、測量データや3D模型とにらめっこしながら激しく妄想を膨らませてニヤニヤと…(笑)。この成果は、来年度に皆様にもご披露する予定。

まだまだコロナが収束する気配もありませんが、十分な対策を取りながら、城跡見学や御城印収集をお楽しみいただきたいし、自分も楽しみたい!

もう一息、みんなで頑張りましょう!

【つぶやき】

令和2年(2020)は織田信長公国吉城入城450年でしたが、同時に館長国吉城入城20周年であることも最近知りました。話は変わりましたが、見開きの赤色立体地図は縮尺を合わせてみましたので、主郭の大きさを比較しながら見てみてください。(ろーど)

発行・編集 若狭国吉城歴史資料館

〒919-1132 福井県三方郡美浜町佐柿 25-2

TEL 0770-32-0050 FAX 0770-32-0057